

平成30年度林木育種成果発表会を開催

平成31年2月13日(水)に、東京都江東区の木材会館において、平成30年度林木育種成果発表会を開催し、国や都道府県の行政関係者、各研究機関等から、約130名の方にご来場いただきました。



写真1 当日の会場の様子

当日は、東京農工大学大学院連合農学研究科 船田良教授から、「木材の形成と環境変動」の特別講演、富山県農林水産総合技術センター森林研究所 斎藤真己主任研究員から、「富山県における無花粉スギの品種開発と実用化」の特別報告をいただきました。



写真2 特別講演中の東京農工大学 船田教授

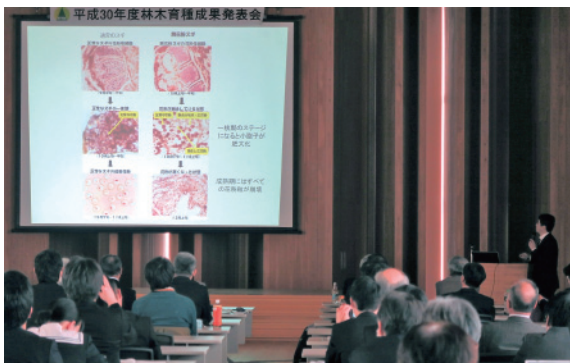


写真3 特別報告中の富山県 斎藤主任研究員

表紙タイトル写真

林木育種センター(茨城県日立市)内にある隔離ほ場に植栽した遺伝子組み換え 無花粉スギです。野外環境においても、無花粉性が維持され、成長も良好でした。

林木育種センター・森林バイオ研究センター・育種場の研究者から、次の8課題について発表しました。

○平成30年度開発品種について

育種部 育種第一課 育種調査役 田村 明

○気候変動に適応したスギ優良品種の開発に向けた取組

育種部 育種第一課 基盤技術研究室長 平岡 裕一郎

○多様な無花粉スギ品種の開発に向けた取組

育種部 育種第一課 高橋 誠

○雪害抵抗性第2世代スギ等の開発と普及について

東北育種場 育種課 主任研究員 玉城 聡

○成長に優れたスギのエリートツリーの開発と普及について

九州育種場 育種課 久保田 正裕

○早生広葉樹の優良種苗の生産技術の開発に向けた取組

遺伝資源部長 生方 正俊

○有用な樹木の凍結保存技術の開発に向けた取組

遺伝資源部 保存評価課 研究員 遠藤 圭太

○ゲノム編集によるスギの遺伝子改変技術の開発に向けた取組

森林バイオ研究センター 主任研究員 七里 吉彦



写真4 発表中の九州育種場 久保田育種課長

また、質疑応答では、気候変動に適応するスギの開発に関する試験の進め方、初期成長に優れたエリートツリー(九育2-203)、早生樹の増殖などについて、国や都道府県の行政担当者や研究機関の研究者から多くの質問が出され、最近の林木育種の動向への関心の高さが伝わってきました。

林業の成長産業化や地球温暖化森林吸収源対策、あるいは花粉発生源対策など、林木育種に対する社会的ニーズが高まっている今日、この成果発表会を本年度の取り組みの一つの区切りとし、これらに対するご来場いただいた皆様からのご意見、ご要望等も踏まえながら、次のステップに向けてさらに研究開発を進めて行く考えです。

(企画部 育種企画課 立花 紀之)

林木育種情報 No.30

平成31年3月29日発行

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター
〒319-1301 茨城県日立市十王町伊師 3809-1

TEL : 0294-39-7000 (代)

FAX : 0294-39-7306

ホームページ <http://www.ffpri.affrc.go.jp/ftbc/index.html>